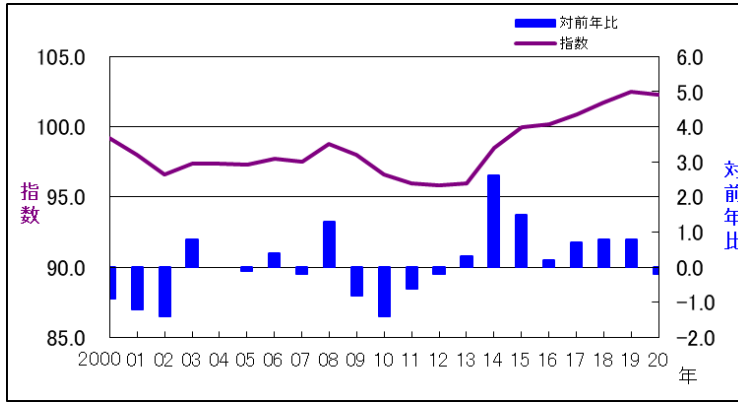
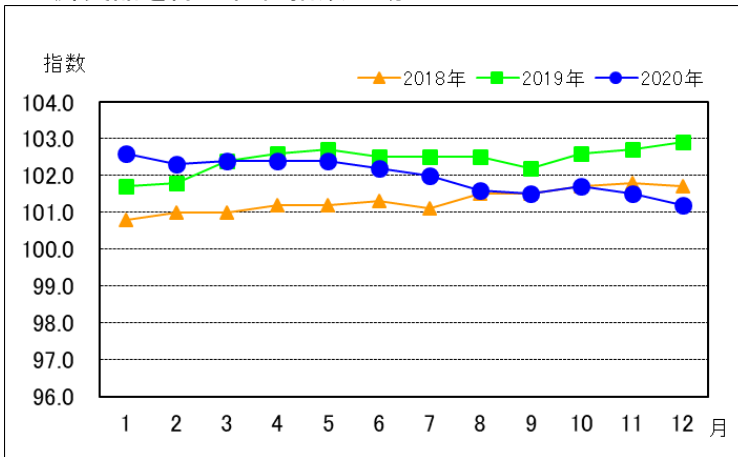


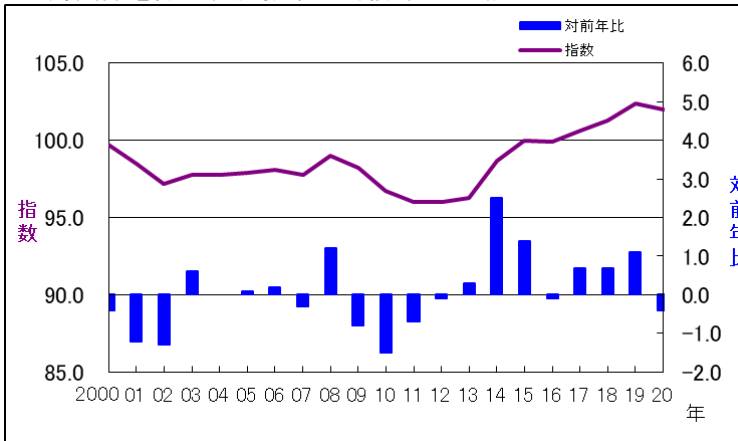
(図-2) 総合指数と対前年比の動き



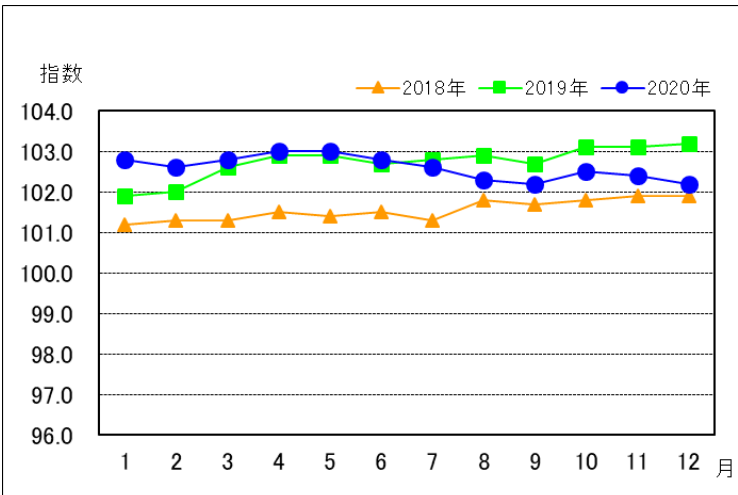
(図-3) 生鮮食品を除く総合指数の動き



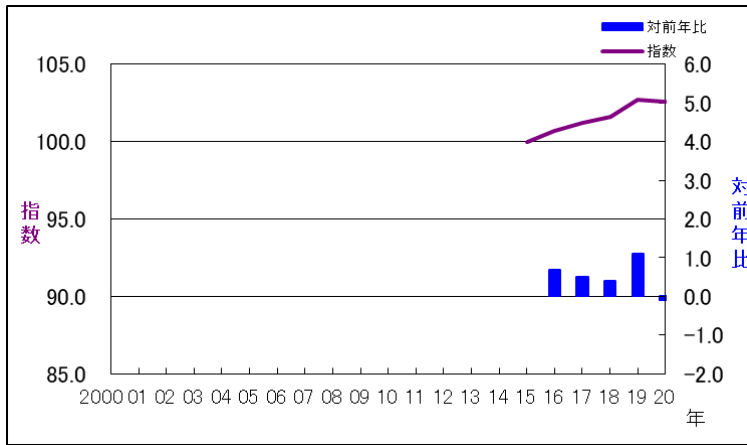
(図-4) 生鮮食品を除く総合指数と対前年比の動き



(図-5) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



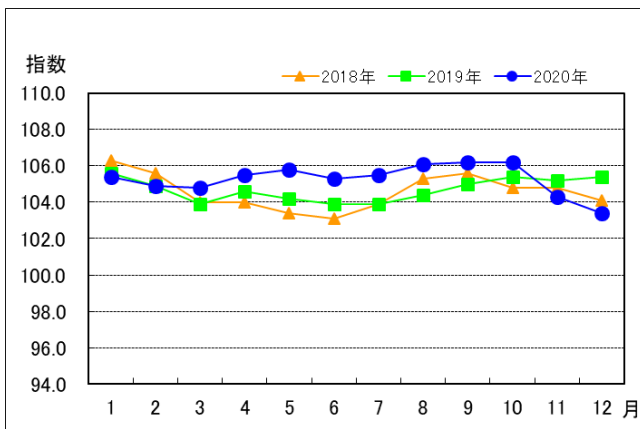
(図-6) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数と対前年比の動き



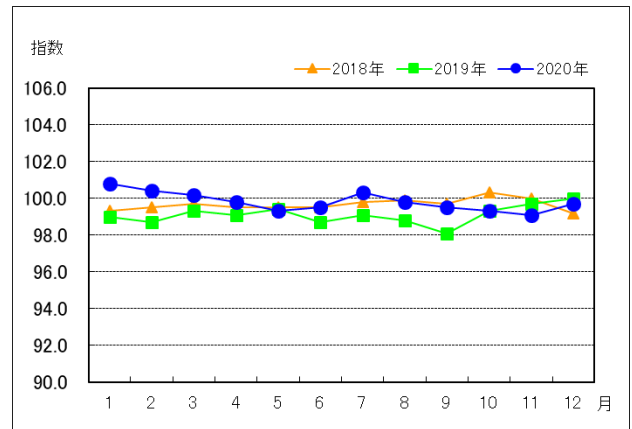
◎総合指数に寄与した主な費目(10大費目)の動き

◆前年を上回った費目

(図-7) 食料指数の動き

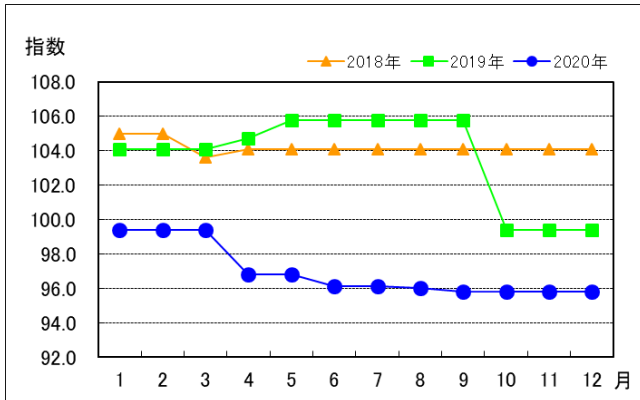


(図-8) 交通・通信指数の動き

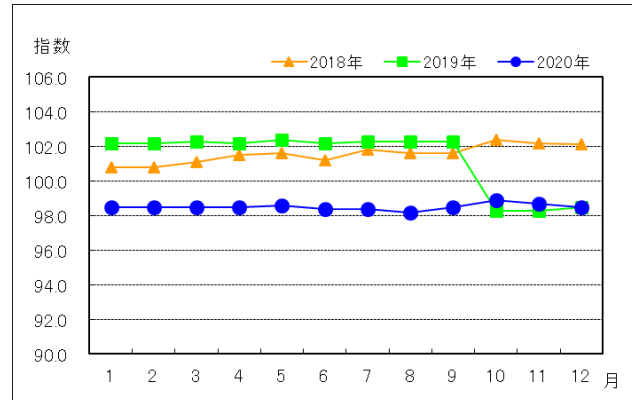


◆前年を下回った費目

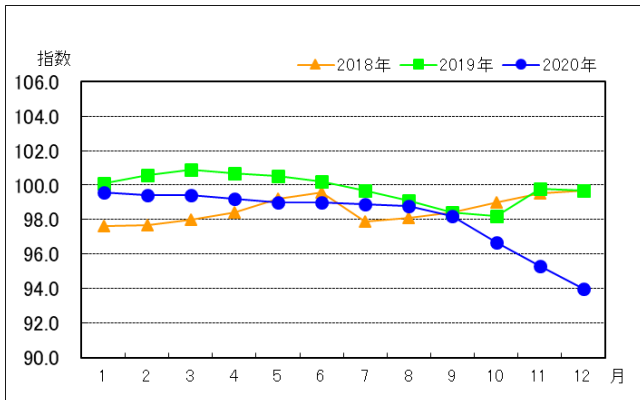
(図-9) 教育指数の動き



(図-10) 諸雑費指数の動き



(図-11) 光熱・水道指数の動き



3. 総合指数の前年比に対し寄与の大きかった中分類指数等

● 上昇した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

交通[交通・通信]	(+)	5.1%
生鮮野菜[食料]	(+)	5.4%

● 下落した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

授業料等[教育]	(-)	10.8%
他の諸雑費[諸雑費]	(-)	9.6%
教養娯楽サービス[教養娯楽]	(-)	2.1%
ガス代[光熱・水道]	(-)	4.2%
電気代[光熱・水道]	(-)	2.2%

注) 寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の前年比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[]内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品（生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物）については、小分類指数です。

4. 10大費目指数と前年比および寄与度

2015年=100

10大費目名	指数	前年比(%)	寄与度	寄与の大きい項目 (中分類等・対前年上昇率)
食料	105.3	0.6	0.15	生鮮野菜 5.4
住居	102.5	0.4	0.07	家賃 0.3
光熱・水道	98.1	-1.7	-0.12	ガス代 -4.2 電気代 -2.2
家具・家事用品	103.1	1.2	0.04	家事用消耗品 3.5
被服及び履物	100.3	-0.3	-0.02	シャツ・セーター類 -6.4
保健医療	104.7	-0.2	-0.01	保健医療用品・器具 -0.8
交通・通信	99.8	0.7	0.10	交通 5.1
教育	96.9	-6.5	-0.24	授業料等 -10.8
教養娯楽	104.2	-0.5	-0.05	教養娯楽サービス -2.1
諸雑費	98.5	-2.7	-0.18	他の諸雑費 -9.6

注) 寄与の大きい項目は、各10大費目に対する寄与度が最大の項目のみ掲載しています。

【参考】近年の総合指数の動き

2017年は、光熱・水道は4月以降、教育は年間を通して前年および前々年を上回って推移しました。一方で被服及び履物は2月から10月にかけて前年を下回って推移しました。また、総合指数は0.7%上昇しました。

2018年は、食料、交通・通信、光熱・水道がおおむね年間を通して前年および前々年を上回って推移しました。一方で被服及び履物は4月から11月にかけて前年を下回って推移しました。

2019年は、住居、教養娯楽、家具・家事用品で、おおむね前年および前々年を上回って推移しました。一方で諸雑費および教育は10月から開始した幼児教育・保育の無償化のため、10月から12月にかけて大きく前年を下回って推移しました。